

「ドラッカー的未来社会を読む」川井健男 宝島社新書より

ドラッカーは、知識社会としてのネクスト・ソサエティについて、以下の3つの特質をあげている。

知識は資金より容易に移動するがゆえに、いかなる **境界もない社会** となる。

万人に教育の機会が与えられるがゆえに、上方への移動が **自由な社会** となる。

誰でも知識を手に入れ、万人が勝てるわけではないが、**成功と失敗の併存する社会** となる。

これらの特質があるゆえに、組織にとっても、又個人にとっても、極めて競争的な社会である。

要するに機会が平等であって、教育によって身を立てることができる流動性に富む社会でもある。

「1万円札」の福澤諭吉が「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」であり、「ペンは剣より強し」ゆえに「学問ノススメ」なのである。

19世紀の昔の人が理想のように考えたことが、今、実現しようとしている。決して悪いことではない。

情報革命とグローバルな競争

どんなところから、競争相手が登場するかわからない。

情報は力なり

供給サイトだけでなく、購入サイトも、ほとんどの商品情報を取得することが容易になった。

そのことにより、購入サイトの価格決定力が拡大した。

情報革命 原料・製品(価格)情報の高速伝達 購入サイトの情報収集力が向上 供給サイトの価格支配力が減退 購入サイトの価格支配力が向上 価格下落の一般化(デフレ)の一因となる

いわゆる市場における消費者主導の確立する！

情報革命は、まだ始まったばかりなのである。

後戻りすることはない。

競争は続き、さらに激化する。

競争的であることは、ネクスト・ソサエティにおいても、自明の前提である。

継続教育の必要性

知識社会であるネクスト・ソサエティにおいては、**教育は最大級の重要性**を持つことになる。

20世紀までは「子どもにとって」という限定がついていた。

これからは「人間、一生、勉強」とその期間が延長される！

一度社会に出た後でも、専門的な教育を受ける人たちが大幅に増えていくことになる。

いわゆる継続教育の必要性が高まり、その需要に合わせて、そのような教育機会の供与も進むことになる。とても実践的で、かつ実戦的なものとなる。

長寿化 労働可能年限の上昇 企業の平均寿命(短くなる)を超える 生涯一職種では飽きてしまう 職種の変更が広がる 継続教育が望まれる

知識社会が進む 知識が資本となる 知識がそれまで以上に価値を持つ

継続教育の意義が高まり 需要が増える

<経営のヒント>

知識社会は競争社会でもある。まさに本当の「学問のすすめ」の時代である！

継続的に学習する個人 組織が成長・発展する社会でもある。

情報 知識、そして技術はすぐに陳腐化する！ 故に常にイノベーションが求められる！

成長とは「量」の増大ではない。「質」の向上である。」